

2020年4月28日

株式会社小田急エージェンシー

あらためて気づく、「大切なひと時をバーチャルで」
Satellite Train が運行を開始します
～バーチャルで乗車体験を。そして人と広告をつなぎます～

株式会社小田急エージェンシー（本社：東京都新宿区 社長：高成田 潔 以下、小田急エージェンシー）では、株式会社 VISUALIZ（本社：広島県福山市 社長：高尾 雅史 以下、ヴィジュアルイズ）と共同で、WEB 上でバーチャルな電車への疑似乗車体験や、ヘッドマウントディスプレイを使用し VR 体験ができる『Satellite Train』を開発し、本日から公開しています。

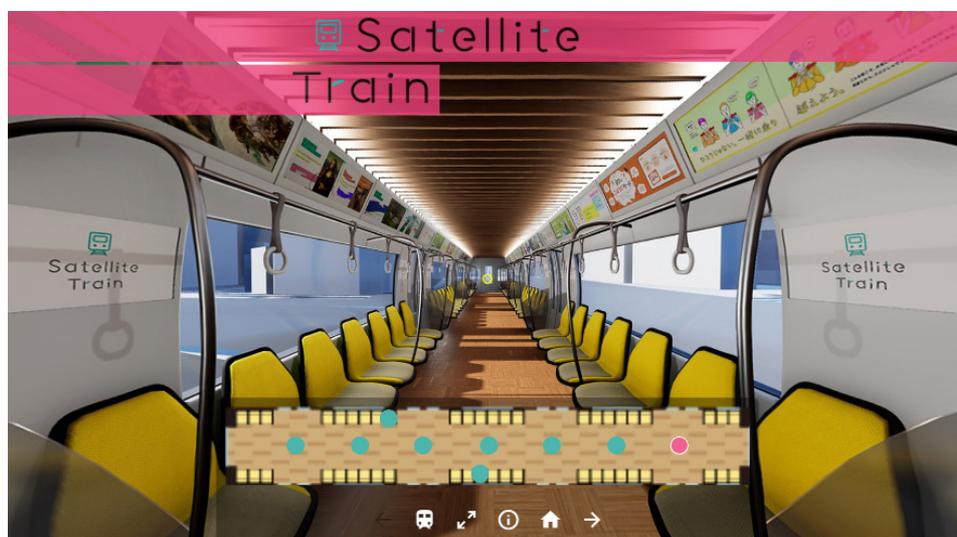


Satellite
Train

「Satellite Train」ロゴ

『Satellite Train』は、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とする外出自粛に伴い少なくなった“電車の時間”をバーチャルで体験することを目的としています。

“電車の時間”を考え事や読書、気持ちの切り替えや休息など、自分の大切な時間として活用していた方々に再びその時間を感じていただけるスペースとして開発。車内には広告スペースも設け、バーチャルの世界での交通広告の可能性を検証するほか、新型コロナウイルスの感染予防につながる啓発・支援活動を行っている企業・団体などにはバーチャル車両の広告スペースを無償提供する予定です(掲出には審査があります)。また、車両を貸切車両としてカスタマイズできるサービスも提供する予定です。



「Satellite Train」車内イメージ

『Satellite Train』の概要は下記のとおりです。

記

- 1.開設日 2020年4月28日(火)
- 2.サイト URL <https://www.satellite-train.com>
- 3.開発意図 電車で過ごした何気ない時間が大切だったことを改めて気づかせてくれる空間として、「電車のひと時をどんな時でも変わらず過ごしてもらいたい」という想いを込めて制作しています。10年後の通勤電車をイメージし、バーチャルにおける交通広告の可能性についても検証します。

4.主なコンテンツ

乗車体験	架空の電車への擬似乗車 ・ワンクリックで乗車体験を始めることができます
VR乗車	ヘッドマウントディスプレイ使用でVR体験が可能 ・ドア付近や座席など、好きな視点で360°の車内に没入できます
無料広告出稿	車内に無料で掲出可能 ・ドア上、ドア横、マド上などへの掲出が可能 ※事前審査があります

5. Twitter 開設 公式アカウント@satellite_trainで最新情報を発信します。

6. 今後の計画 車窓を動的にするなどバージョンアップを予定しています。

以上

<参考> 小田急エージェンシーとヴィジュアライズのこれまでの業務連携について

平成29年11月 神奈川県伊勢原市大山阿夫利神社にてプロジェクションマッピング実施

平成30年7月 新宿サザンテラスにてプロジェクションマッピング実施

平成31年3月 小田急線登戸駅にて駅装飾のデジタルコンテンツ実施

■本資料に関するお問合せ■

株式会社小田急エージェンシー PR部 担当：高柳

電話：03-3344-5988

受付時間：10:00~12:00,13:00~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

メール：press@odakyu-ag.co.jp